

放射線技術科支部会報

Vol. 6 1995年1月15日発行

発行人 末森慎治（1期生）
編集 黒住晃（4期生）
編集発行 川崎医療短期大学同窓会
(松丘会)放射線技術科支部
〒701-01 倉敷市松島316
☎086-462-1111 (3055)
印刷 西日本法規出版株

会 告

放射線技術科支部総会について

総会運営委員長 金田俊章（1期生）

まず、皆様にお詫びしなければなりません。前号にて総会開催日を2月19日（日）とお知らせしましたが、こちらの手違いで以下のとく変更となりました。会員の皆様にはお間違えのなきよう、よろしくお願いします。

第一回の支部総会と言うことで戸惑うことも多く試行錯誤しながら運営委員一同、準備を進めています。今後の同窓会の発展のためにも、一人でも多くの方々が出席されるようご協力よろしくお願いします。

日時 平成7年2月26日（日） 14：00より
場所 川崎医療短期大学200号教室

総会運営委員

三 村 あけみ	（3期、川崎医科大学）	国府島 昌之	（9期、長野病院）
小 橋 秀 樹	（4期、川崎医大付属病院）	山口知子（安原）	（13期、倉敷平成病院）
難 波 隆	（7期、藤沢脳神経外科病院）	渡 邊 伸 作	（14期、岡山中央病院）

式次第

- | | | | |
|---|-------------|----|-------|
| 1 | 支部長挨拶 | 7 | 議長解任 |
| 2 | 議長選出 | 8 | 支部長講演 |
| 3 | 平成6年度事業経過報告 | 9 | 役員選挙 |
| 4 | 平成6年度予算経過報告 | 10 | 新役員挨拶 |
| 5 | 平成7年度事業計画案 | | 終了 |
| 6 | 平成7年度予算案 | | |

尚、総会参加者は当日会報 Vol. 6 を御自参下さいますようお願い致します。

選挙管理委員会からのお知らせ

会誌でもご承知の通り、平成6年11月末日を以て役員改選に伴う、立候補者の受付の締切を行いました。立候補者は、以下の方々となりました。

(支部長立候補者) 末 森 慎 治 (川崎医科大学附属病院 1期生 ⑨)

(監査立候補者) 富 田 正 二 (国立吳病院 4期生 ⑩)

・小 棕 一 作 (香川医科大学医学部附属病院 8期生 ⑪)

今回の選挙では立候補届については、会員各位の自発性が促される様、またこれを期待し、書類発送を個人負担としました。選挙管理委員会の活動についても、支部会本部と一線を隔す目的から、活動の拠点を倉敷中央病院に置き、運営にあたって参りました。委員会としては、複数の候補者の出馬を切望して参りましたが、現実としては現職役員と、若干名の立候補者の出馬に留まりました。

初の総会・選挙と言う事で、我々の力不足から松丘会会員各位に十分な理解が求められず、多大な御迷惑をお掛けしたのではないかと反省しております。立候補者各位におかれましては、今後の松丘会の活性化を最大の目標と掲げられ、会員の為に更に奮闘される様、お願い致します。

尚、投票に関しましては、総会会場入場時にお願い致します。

記 平成6年12月1日

選挙管理委員会一同

平成6年度第1回放射線技術科支部総会資料

平成6年度事業経過報告

- 第1回放射線技術科支部総会の開催及び第1回役員選挙
- 総会運営委員会、選挙管理委員会の開催
- 会報の発行 (Vol. 5, Vol. 6)
- 会員名簿の充実
- 九州・山口地域支部（倉友会）への助成及び平成6年度総会への派遣（天野）
- 第13, 15期生同窓会開催に助成金
- 支部会費の徴収
- 運営委員会及び代表者会の開催
- 平成6年度全国放射線技師総合学術大会（佐賀）での同窓会開催

平成6年度決算経過報告

収入の部 科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	239176円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	

平成6年度会費 第15期生支部会費 利息	309000円 44000円 2422円	44人×1000円
合 計	724598円	
支 出 の 部 科 目	決 算	備 考
会誌印刷費	74716円	会誌Vol. 5 74716円
通信費	66210円	会誌送料 65430円 切手代 780円
交通費	19760円	岡山一小倉 (1人)
地域支部助成金(倉友会)	25010円	(300円×83人)+手数料110円
同窓会開催助成金	4500円	第13期生 (100円×45人)
	4400円	第15期生 (100円×44人)
合 計	194596円	
残 高	530002円	

(平成6年12月5日現在)

平成7年度事業計画（案）

第2回放射線技術科支部総会の開催

会報の発行

放射線技術科支部設立20周年記念事業の開催

会員名簿の充実

同窓会開催への助成

会費の徴収

運営委員会及び代表者会の開催

役員等運営委員の充実

地域支部設立の推進

平成 7 年度予算案

収入の部 科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	300000円	見込（特別会計積立金を含む）
同窓会（松丘会）援助金	130000円	
第16期生支部会費	63000円	63人（見込）×1000円
平成 7 年度支部会費	250000円	250人（見込）×1000円
合 計	743000円	
支出の部 科 目	決 算	備 考
総会運営費	60000円	
会誌印刷費	200000円	
通信費	200000円	
事務費	50000円	
交通費	40000円	
同窓会開催助成金	45000円	
倉友会助成金	30000円	
特別会計積立金	100000円	会費納入人数×300円
予備費	18000円	
合 計	743000円	

（平成 6 年 12 月 5 日現在）

住所不明者リスト

第 2 期生 清田敦子 芦原裕美（難波）

飛弾和美

第 3 期生 大下智子（相澤） 長島豪則

花木 昭

第 4 期生 大迫みち代 山下卓士 梶川真弓

第 5 期生 安楽浩一 佐藤千恵美（鈴木）

寺田祐也 蔡 高志 福田文子

中島幸知美（渡邊）

第 6 期生 西山紀子 日高 徹 村田佳代

日地良雄 山口裕之

第 9 期生 三上雅也 橋本政宏

第10期生 佐藤研一 那波哲也 福満誠一

第11期生 佐々木貴子 立花寿子 西村伸二

平成 6 年 12 月 24 日現在

その他

初めての同窓会にて

川崎医科大学附属病院 石 川 哲 也（15期生）

今年の夏は例年になく猛暑となり、各地で水不足が深刻な問題となりました。これまで水というものの有難さが分かっていなかったぶん身にしみて水の大切さを感じました。時のたつのは早いもので、今年もはや木枯らしが吹く季節となり、日に日に寒さが厳しくなっていく次第です。卒業生の皆さんも、それぞれの医療機関に就職し約半年が過ぎました。もうそろそろ職場の雰囲気にもなれ、仕事の方も順調にはかどっていることだと思います。

去る10月 9 日（日）連休の初日を利用して第15期生の同窓会を岡山で開催いたしました。幹事の私としては早めに会場場所に行き皆さんができるのを心待ちにしておりました。始めは卒業して半年ばかりなので出席者数が少ないのではないかと心配しておりましたが、会が始まる時刻になると、次々とみんなが変わりない元気な姿で現れ安心しました。出席予定者がほぼ集まり、定刻より少し遅れて会は始まりみんなで乾杯しました。卒業して半年足らずなので、余り懐かしさは感じられなかったが、卒業してそれぞれ違った環境のなかで働いているので、仕事の内容や人間関係についてひとしきり語り合いおおいに盛り上りました。今回、先生方は都合により欠席となったことが非常に残念であったが、当日、出席者は24人とまずまずでした。料理を食べ酒をのみ 3 時間ほどの楽しい一時を過ごした後、3 本締めで 1 次会は終わりましたが、つもる話があってか会場からはみんながなかなか出てくれませんでした。そして 1 時間ほどたってから、お決まりのように短大のすぐそばにあるカラオケリッヂでまた一段と盛り上り、知らぬ間に夜が深くなつて、今日の会もお開きになった。いい思い出

の1ページができたことだと思います。

最後になりましたが、幹事として私に届かない点がありましたことをお詫び申し上げておきます。そして来年はいよいよ20世紀の最後の5年間に突入することとなります。子どものころ、「夢の21世紀」などという正に「夢」のようなお話を聞きました。描かれる未来都市にはクリーンなエネルギーを動力とする車や列車が走り回っていました。その21世紀が目の前に近づいているのですが、現実の世界ではいっこうにそんな気配がしません。これから科学の発展は著しいものがあるかもしれません、何年か先また同窓会を開催いたします時には、今と変わりない元気な姿で、できるだけたくさんの皆さんに出席していただきたいと願っています。

放射線技術科第13期生同窓会開催報告

日 時 平成6年9月24日（土） 19：00～

場 所 一次会 くらしき石山花壇

二次会 カラオケ シード館

出席者 安部昌弘、石井孝之、梅田純子、片山貴美夫、木下知美、久保田陽子、倉田京子
砂盛 浩、富山 隼、西尾貴浩、尾崎久美、橋野松一郎、本多武夫、溝口義信
宮本真路、村上勝哉、安原知子、竹内 誠、又木千穂、荒尾信一（川崎医療短期大学）
(以上20名)

放射線技術科第15期生同窓会開催報告

日 時 平成6年10月9日（土） 18：00～

場 所 一次会 桃花苑 二次会 カラオケリッチ

出席者 安藤久美子、伊瀬憲一郎、伊東与子、石川哲也、市川 真、小野 勇、角田文彦
川添ゆき子、黒岩智子、古賀修治、佐野久子、斎木秀太郎、田原義成、豊沢修美
中島和也、七森都志子、西江 誠、西森公香、廣谷朋子、藤原直樹、水井浩二
三宅俊彦、八幡真理子、新野尾厚雄
(以上24名)

放射線技術科支部同窓会開催報告

拝啓 敵寒の候、みなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、去る11月4日、佐賀県に於きまして日本放射線技師学術大会が開催された折りに開催致しました放射線技術科支部同窓会の報告を下記のように致します。
敬具

日 時 平成6年11月4日（金） 19：00～

場 所 一次会 佐賀東急イン 二次会 ぼんじゅーる SAMURAI

出席者 (1期生) 中 良治、小川正人、松尾義幸、末森慎治、相川義治、岩元繁幸

(2期生) 二神恵津郎、安井修巳 (3期生) 森山俊明 (4期生) 黒住 晃

(5期生) 坂井征一郎、加藤友隆 (8期生) 荒尾信一、塩谷正貴、佐藤 整

西村泰之、小椋一作、日置元大、江口教久 (9期生) 高尾 渉、森 文夫 (11期生)

天野貴司（14期生）森吉小織（15期生）柴田正信

尚、当日参加された方でお名前の記入もれがありましたら深くお詫びいたします。

以上 幹事 江口 教久（8期生）・坂井 征一郎（5期生）

トピックス

放射線技術科支部

副支部長 荒尾 信一（8期生）

第47回診療放射線技師国家試験の日程が以下のように決定した。

試験日：平成7年3月7日（月）

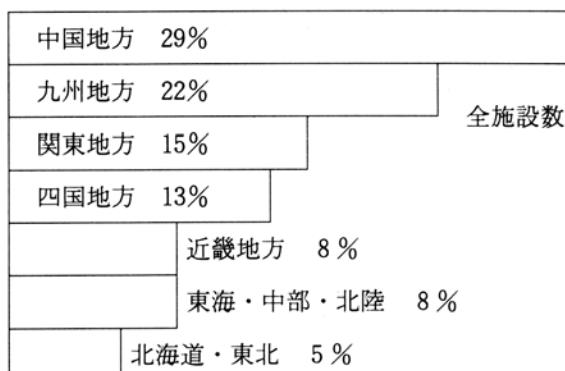
受験地：北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県および福岡県

合格発表：平成7年4月14日（金）午後
なお、本年度より試験委員の公示が行われている。

〔求人・就職状況〕

（求人状況）

本年度、本学卒業予定者（第16期生、63名）に対する求人状況は、11月30日現在で施設数281施設、総求人数559名となっており、昨年同時期と比べると約1.5～2割減となっている。在学者数に対する求人の絶対数はまだ多いが地域によりかなりばらつきが出てきており、希望する就職先を決めかねるケースもあるようだ。各地域別の求人施設の分布を以下に示す。



（就職状況）

卒業予定者の就職内定状況は、11月30日現在で内定23名、出願中・結果待ちが22名となっている。こちらも前年度に比べるといくらかスローペースがうかがわれる。内定者の地方別分布は、中国地方11名、九州地方3名、四国地方3名、近畿地方3名、関東地方2名、北海道1名となっている。

〔国家試験〕

（試験日程）

〔出張報告〕

平成6年11月26日（土）に倉友会（放射線技術科九州・山口支部）の第5回総会が北九州市門司区めかり山荘にて開催されたため、放射線技術科支部役員1名（会計、天野貴司）が出席した。

総会に先立ち、会員の学術発表があり、その後総会が開催された。総会では、予算、決算、事業報告、監査報告等のほか、役員改正に伴い、支部長および監査が改めて決まった。今後の倉友会における運営面においても議論がなされ、会費未納者に対する処置や活動指針が討議されたのち親睦会へと続いた。出席者は約20数名でそれぞれ世代を越えた交友、また卒業生全体の意識レベルの向上の場として非常に盛況であったが、もっと女性の方も積極的に参加してほしいと思った。

※お詫びおよび訂正

前号（Vol.5）のトピックスにおいて、本学、

山下一也教授の前勤務先名と職名に間違いがあり、ご迷惑をおかけしました。ここにお詫びとともに訂正させていただきます。

[正] 大阪大学医学部保健学科（放射線技術科学専攻）助教授

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）放射線技術科支部規約

（名称および事務所）

第1条 この支部は川崎医療短期大学同窓会（松丘会）放射線技術科支部（以下、支部という）と称し、川崎医療短期大学同窓会（以下、松丘会といふ）会則第12条に基いて設置する。

第2条 この支部の事務所は川崎医療短期大学内に置く。

（目的）

第3条 この支部は、支部の会員相互の親睦を図るとともに、松丘会および川崎医療短期大学放射線技術科の発展に寄与することを目的とする。

（会員）

第4条 この支部の会員は、普通会員および特別会員とする。

（1）普通会員

川崎医療短期大学放射線技術科卒業生

（2）特別会員

川崎医療短期大学放射線技術科教職員およびかつて教職員であった者で入会を希望した者

（事業）

第5条 この支部は、第3条の目的達成のため次の事業を行う。

- （1）各期、各地域支部同窓会活動の奨励および援助
- （2）支部会員および新卒者の就職援助
- （3）支部会誌の発行
- （4）その他、必要と認められる事項

（役員）

第6条 支部に次の役員を置く。

- （1）支部長 1名
- （2）副支部長 2名
- （3）代表者 各期1名
- （4）運営委員 若干名
- （5）会計 2名
- （6）監査 2名

2. 支部長は、総会において普通会員より選出され承認され松丘会支部長を兼任する。

3. 副支部長は、普通会員より支部長が委嘱する。

4. 代表者は、普通会員より支部長が委嘱する。

5. 運営委員及び会計は、普通会員より支部長が委嘱する。

6. 監査は、総会において普通会員より選出され、他の役員を兼ねることができない。

（役員の任務）

第7条 役員の任務は次のとおりとする。

支 部 長 支部を総括する。

副支部長 支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代行する。

代 表 者 各期を総括するとともに代表者会を構成し会務の遂行にあたる。

運営委員 運営委員会を構成し会務の遂行にあたる。

会 計 金銭の収支および会費徴収にあたる。

監 査 支部の運営および会計財務の監査を行う。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は5年とする。ただし再選は妨げない。

2. 役員に欠員を生じた時は、代表者会の議決を経て、支部長がこれを補充することができる。
3. 補充により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 この支部の会議は総会、代表者会および運営委員会とし、各必要に応じて支部長が召集する。

2. 総会は、重要事項を審議決定する他、会務の報告を受けるものとする。ただし、総会召集いとまなき時は、代表者会において決議することができる。
3. やむを得ない理由のために出席できない会員は、あらかじめ通知された事項についてのみ書面をもって表決をし又は代理人に委任することができる。この場合は出席したものとみなす。
4. 総会の議決は、役員を除く出席会員の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。
5. 総会の議長は、役員以外の出席会員中より選出する。
6. 代表者会は、第6条、1項で定められた役員により構成され、支部規約の改正および事業計画など重要事項を審議する。
7. 代表者会は、役員の過半数以上の出席をもって成立し、出席者の過半数の同意により決議することができる。

(経費)

第10条 この支部の運営に要する経費は、支部会費、松丘会支部援助金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。

(支部会費)

第11条 支部会費は、普通会員より徴収する。

ただし、特別会員からは、徴収をしない。

2. 支部会費徴収については総会において審議する。
3. 支部会費は、年度当初に所定の会費を納めるものとする。
4. すでに納入した会費は、理由の如何を問わず返還しない。

(会計年度)

第12条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

(地域支部)

第13条 地域支部は、総会の決議により設立することができる。

2. 地域支部は、支部に協力を要請し代表者会の承認を経て援助を受けることができる。
3. 1項で承認された地域支部より地域支部長を1名選任し、地域支部長は、支部の代表者を兼任する。

(義務)

第14条 会員が氏名、住所および勤務先を変更した場合は、速やかに変更届を支部事務所または松丘会事務所に提出しなければならない。

(附則)

この会則は1990年4月1日より施行する。

(附則)

この会則は1993年5月15日より施行する。

(附則)

この会則は1993年7月10日より施行する。

(附則)

この会則は1994年3月19日より施行する。